

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和7年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1			
	2	職員の配置数は適切である	5	2			足りないと思う時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	1		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				ホームページに載っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				事業所内では行われている。定期的に研修を行なっている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				何をするのか、話し合いはよく出来ていると思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				プログラムのバリエーションを増やしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1			行事案で固定化がないように工夫して、活動が組まれている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1			長期休みの間は打ち合わせが出来る時間もあまり余裕がない。話し合いは出来ていると感じる。朝礼で行なっている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	1		全員では出来ていないと思う。共有も出来ていない。日々の中で時間がある時に出来ている。支援の振り返りをする時間がなく、今後必要あるのではないか。いつもと違う行動等があれば、共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				個別支援の記入を積極的に行なっている。日々の記録を見て、支援の向上に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1			対象児童なし4
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	2		研修は受けていない為、助言等もない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4		特にない。あっても良いと思う。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				送迎時や保護者相談で伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	1		
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				上司に相談しながら助言、支援を進めている。保護者からの話しを傾聴し、支援に繋げている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		6		保護者同士での交流はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				すぐに上司に確認をして対応出来ている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	1		出来過ぎている程、出来ている。
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			出来ている。言葉遣いや言葉を選ぶ等、工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2		あまり、そういった行動は見られない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				出来ているが、もう少し定期的にも本格的に行えたら良いと思う。避難訓練を行なっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				研修を開いてくださる為、よく学べる。毎月、行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1			該当なし1
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				研修等でたくさん学べている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和7年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2 保護者等数（児童数）11人回収数 10割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			いつも送られてくる写真を見て広いなー。と私自信も感じている。庭や室内遊びの空間、勉強できる個室があり、活動しやすい感じ。広いお庭もあって良い。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			人員配置はとても手厚いと思う。	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1			
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	11			自分の子どもに合った計画書を作って頂いているので、本当に助かっている。都度、面談して頂き、情報共有してサービス計画を策定してくれている。	
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			子ども達が楽しめそうな活動が企画されていて、工夫を感じる。特に土曜日の活動は楽しみにしている。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	3	1	不明。	
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11			毎日、送迎の際に詳しく説明して頂き、凄くありがたい。毎日の送迎時や必要な時は電話等で蜜に連絡を取り合えて、様子がわかり安心している。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11				
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	5	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		困ったことに対し、迅速に対応して下さり、大変ありがたく思っている。安心して預けられる。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11			日々の様子をライン等で情報共有してくれている。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11				
	14	個人情報に十分注意しているか	11				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1	1		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11				
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11			毎日、とても楽しみにしている。	
	18	事業所の支援に満足しているか	11			大変、満足している。えらおを選んで良かった。大満足。個別のリハを継続して受けたい。	

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイサービスえがお第2		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	庭や室内遊びの空間、勉強できる個室、午睡室と用途にあった空間がある。また、庭もあり児童がいつでも外で遊ぶことができる。	広い為、児童がどこで何をしているのか把握が大変なこともあるが、職員間で連携を取ることで、児童の気持ちを優先した支援を行うことが出来ている。	引き続き、職員間で連携を取り、児童の気持ちを汲み取った支援を行なっていく。 年齢に応じた遊び、製作等、過ごし方の提供を行なう。
2	個別支援の記入を日々、行うことが出来ている。個別支援記入の記入を行うことで、児童の様子や支援内容を確認、共有することが出来ている。統一した支援に繋げることが出来ている。	個別支援記入の記入の有無の確認。	引き続き、支援に入る前に個別支援記録を確認することで、支援の充実、児童の変化の把握を図っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇中の活動や支援への打ち合わせの時間が不十分。	長期休暇中は朝礼がない為、伝達、報告・連絡の時間が確保しづらい。	職員間で連携を取り、口頭やノートで行なっていく。SNS機能も可能な範囲で活用を行なう。
2			
3			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和7年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			児童と職員で20人前後で室内で過ごす場合は危険を感じる。
	2	職員の配置数は適切である	7			基本的にそろっているが、足りないと思うことがある。 対1ではない時は集団を工夫する等は出来ている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			児童に分かりやすいような環境が凄く出来ていると思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			掃除も出来ていて、支援室の壁面は時期ごとに変えられていて、素敵な空間だと感じる。 各場所に清掃担当を配置している為、清潔を保っている。 朝の清掃を行なっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1		1人1人が意識を持ってやらなければいけないと思う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページに載っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		もう少し知りたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			事業所内では年に数回行なっている。定期的に研修を行い、資質向上を行なっている。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			上司から分かりやすく伝えてもらっている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
切 な 支 援 の 提 供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			個別支援等を通して工夫されていると思う。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			幅広いプログラムを行なっている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎日、朝礼を行い、その日の流れや児童の人数をそれぞれが把握出来ていると思う。 朝礼で確認することが出来ている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		振り返りはそれぞれが出来ていると思う。 時間を見て共有することが出来ている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			個別支援の記入をしている。 記録を取り、次の支援に繋げている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7			
23		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3			
24		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4			
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			連携が取れていると感じる。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		そういった機会はない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	5		もう少しあっても良いと思う。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時に伝達を行い周知している。可能な限り保護者と話しをして情報共有をしている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			常に全力で対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7			常に全力で対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2		行事予定を配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			保護者の悩んでいること、不安に思うこと等、話しを聞いて対応出来ていると思う。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			「引き渡し訓練」をした方が良いのではないかと思う。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		もう少し定期的に行なった方が良いと思う。 定期的に各種訓練をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			服薬は周知して、知らせている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			毎月、研修が行われている。 ヒヤリハットの報告書を確認し、再発防止に努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			月1回研修が行われている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1		

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和7年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお第2 保護者等数（児童数）6人 回収数6人割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				庭もあり、外遊びも安全に出来ている。集団活動や個別活動によって、大小のスペースを確保されている。	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5			1	いつも目が行き届いていて、しっかり見てくださっていると感じる。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6				室内の配置(玩具等)子どもが片づける時も場所が分かるような工夫もある。靴箱も自分のマークのシールが貼っている為、わかりやすそう。見える化されており、子どもにも分かりやすくされている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6				清潔感もあり、安心して預けることが出来ている。新しい建物ではあるが、明るく清潔であると感じる。	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				気になることや困りごと等の会話から課題を考え出せるよう沢山話しを聞いて、作成してくれている。いつも丁寧に作成して頂いている。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1	子どもの様子を見たり、療育での状態等、共有しながら計画は立てた。ガイドラインを詳しく把握は出来ていない。	児童発達支援ガイドラインを保護者にお伝えし、支援内容等を設定していきます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				行なわれているし、その都度、本人のレベルに合わせて支援されていると感じる。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5			1	季節の遊びや製作をしながら、ハサミや文字の書き方なども訓練できている感じがある。様々な活動で子どもが飽きることなく取り組んでいる。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1		3	他の園の子ども達との交流はなさそう。無くても困ったことはとくにない。	インフルエンザ等の感染症対策もあり交流できていないため、今後検討していきます。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				入所の際、しっかり丁寧に説明があった。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6				とても分かりやすかった。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4			2	困りごとや苦手な事を相談すると、対応の方法等を教えてくれる為、参考にすることも多い。送迎の時に直接聞けるので、ありがたい。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6				いつも細かく見てくださっていて、送迎の際、丁寧に報告がある為、わかりやすい。 送迎時に子どもの様子を教えてくれる。写真も分かりやすく撮ってくれており、満足している。 気になる点や活動日の様子は都度、ラインや電話でお知らせ頂けるので安心。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6				面談希望を毎月出せるようになってきている。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	2	保護者同士の関わりはないが、それで困ることは特にはない。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6				その日の出来事を連絡ノートと写真で詳しく教えて頂けるので、出来るようになったこと等も分かりやすい。 服薬や欠席連絡等もすぐに返信が来て、対応して下さる為、ありがたい。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4				2	
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	6						
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3				3	通所日ではないのか、訓練が行われているか、分からない。 避難訓練は、火災・地震・津波・洪水を想定し、年2回実施しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	1			朝は行くのを楽しみにしていて、帰宅後は楽しそうにその日の出来事を話してくれる。 発語の少ない子どもが「えがお行く。」と言っている。いつもとても楽しみにしている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	6				子どもも楽しんでいるし、親も不満なく安心して利用出来ている。 子どもの成長もたくさん見れる為、とても大変満足している。 まだ入所したばかりで分らないことも多い状況。しかし、その日の活動内容や写真も頂けるので、本人が頑張っている姿、楽しんでいる姿等が見られ、親としては嬉しく安心して利用させて頂いている。これからもお願いしたい事業所。	

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童デイサービスがお第2		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和6年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に日々の活動の写真を送信したり、支援記録を毎日配布している。送迎の際に口頭でも様子を伝えることが出来ている。トラブルも保護者にすぐに伝達出来ている。	保育園送迎等で保護者に会う機会が少ない児童に対しては電話で様子伝える等の工夫が出来ている。トラブルに対しても口頭で伝えられている。トラブルのみでなく、成長したこと、頑張ったことも伝え保護者と情報共有が出来ている。	児童のみでなく、保護者の不安も聞き入れ、保護者相談等に繋げていく。保護者に適切な助言、支援を行なっていく。
2	毎月の研修を通してヒヤリハットの再発防止に繋げている。また、	実際に起こった事象に対して、改善すべき事を話し合い支援に繋げている。再発防止の為の話し合いも出来ている。	定期的に振り返りを行い、職員間で情報共有を行う。再周知を行なう。
3	季節に沿った活動を取り入れている。また、壁面飾りも季節や行事に合わせて変えている。	季節ならではの物に触れたり、興味を持てるように活動のみでなく、壁面飾りも変えている。また、児童の作った製作物も飾ることで、作った。出来た。達成感を感じてもらうことが出来ている。飾る位置や場所も工夫している。	季節の行事、活動のみでなく、日々の製作物や個別支援活動で取り組んだことも、飾る、視覚化することで達成感に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害発の発生時に備え訓練をしているが、訓練の回数やその他の訓練が行われていない。	年に2回(地震や火事を想定)訓練を行なっているが、引き渡し訓練や防犯訓練等、様々な非常事態に備えた訓練を増やして行く方が良いのではないかな。	事業所内で必要な訓練を検討し、実施していく。防犯マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル等を各職員が常に意識し、日々の支援を行う。また、訓練の際は緊張感を持って行えるよう、職員が環境、雰囲気を作っていく。
2			
3			